



# 試験区分：一般農業（農業）

農林水産部 農業総合研究センター  
園芸農業研究所

研究員 菅野 翔太



## ある1日のスケジュール

- 8:30 業務開始（部内でミーティングを行い、一日の作業内容を確認します）
- 8:40 新しい技術の開発に向けた調査・研究（果実品質や樹の生長状況等を調査し、データを収集・蓄積します）
- 13:00 試験樹の栽培管理  
（試験樹の摘果や着色管理、施肥、かん水など）
- 16:15 調査データの取りまとめ
- 17:15 業務終了

## 入庁後の経歴

- 平成28年度 入庁  
村山総合支庁 産業経済部 西村山農業技術普及課 果樹担当
- 平成31年度 農業総合研究センター 園芸試験場 果樹部

Q

現在の担当業務を教えてください。

果樹の栽培方法に関する試験研究（技術開発）を行っています。生産現場では生産者の高齢化や担い手不足などが課題であり、これに対応した省力的で誰でもできる新しい栽培方式の開発や自動ロボット草刈り機の実証が主な担当業務です。農業の省力化は持続可能な山形県の農業を支える上で重要な仕事であり、やりがいを感じています。

Q

仕事をするうえで心がけていることはありますか。

試験研究を進めるにあたって、生産現場の状況把握が重要であると考えています。生産者の経営発展や現場の課題解決に直接役立つ試験研究を行うために、生産者や現場の普及指導員との情報交換を欠かさないように心掛けています。

Q

これまでの業務で印象に残っていることは。

新しい技術開発に対する生産者の期待や関心は非常に大きく、視察や研修会ではたくさんの相談や質問を受けます。技術を導入した生産者の方から「儲かった」と言っていたときは、自分の仕事が生産者の経営に役立つ仕事であると実感し、改めて自分の仕事に誇りを感じました。



Q

みなさんにメッセージをお願いします。

一般農業職は、生産者や関係機関の方々と直接接する機会が多く、自分の仕事の結果が目に見えるやすい職種です。ぜひ、一緒に農業県山形を支え、山形県の農業を盛り上げていきましょう

